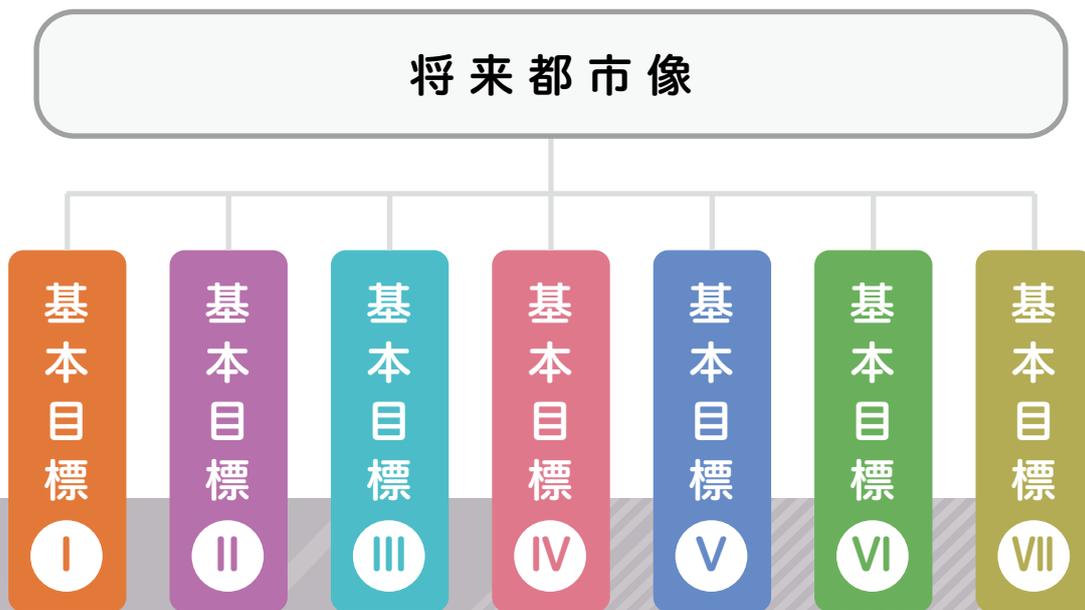


### 3

## 計画推進のために

将来都市像を実現するために全ての分野における基本的な考え方を定め、本計画を推進します。

### 計画推進のための考え方



**考え方 1** 協働によるまちづくり

**考え方 2** 情報共有・発信の強化

**考え方 3** 質の高い行財政運営の推進

**考え方 4** 信頼される行政の実現

# 考え方 1

## 協働によるまちづくり

戸田市は平成26年(2014年)に「戸田市自治基本条例」を制定し、まちづくりの基本原則に「協働によるまちづくり」、「まちづくりへの参加・参画」を掲げています。本計画の策定に当たっても、この基本原則に則り、市民・議会・行政の三者による検討を進めました。今後の計画推進にも協働の推進が重要となります。

さらに、地域社会において国籍や性別、年齢、個性、考え方などに違いのある様々な人々が、お互いを認め合い、共に生きていくという共生の理念を大切にしていける必要があります。





## 取組の方針

### (1) 戸田市自治基本条例の推進

- 戸田市自治基本条例の理念を広く普及させるため、周知啓発活動を継続し、市民や町会・自治会、地域に関わる様々な人や団体などが、議会、行政と共に考え、協議や話し合いを行い、地域課題の解決に向けた協働の取組を推進します。

### (2) 多文化共生社会<sup>※</sup>の促進

- 第2次戸田市多文化共生推進計画を推進し、戸田市国際交流協会を中心に市民活動団体等との連携を進め、各種事業の周知や意識啓発を充実することで、日本人市民と外国人市民が互いの文化の違いを理解し認め合い、交流することで、多様性を尊重する多文化共生社会の実現を目指します。

### (3) 平和意識の高揚

- 戦後80年が経過し、戦争体験者が少なくなる中でも、その記憶を次世代に伝え、平和の尊さを未来に引き継ぐことが重要であるため、子どもも参加しやすい企画を開催するとともに、変わりゆく現在の世界平和情勢も伝える工夫をすることで、平和意識の高揚を図ります。

### (4) 人権意識の高揚

- 人権意識の高揚や人権教育の指導者養成を目的とする市民への啓発や研修については、内容や場所、開催方法、周知方法などを工夫し、関係部署が連携して取り組みます。さらに、差別や人権課題の理解促進を図るため、市民や企業、市職員などを対象とする人権研修や講演会なども開催することで、人権意識を醸成します。
- 市民の人権意識に関する分析や研究を行い、差別の現状や新たな人権課題等を十分把握した上で、相談体制や周知啓発活動を充実させます。

### (5) 男女共同参画<sup>※</sup>の推進 総合戦略

- 戸田市男女共同参画推進条例及び戸田市男女共同参画計画に基づき、誰もがそれぞれの違いや多様な生き方を尊重し、個性や能力を十分に発揮できるよう、上戸田地域交流センターを男女共同参画の推進拠点として、より効果的で多様な事業を積極的に実施します。
- 戸田市男女共同参画推進委員会をはじめ、市民と事業者、市が連携し、協力し合いながら、男女共同参画社会の実現に向けて取り組みます。

## 考え方 2

# 情報共有・発信の強化

「戸田市自治基本条例」では、まちづくりの基本原則の一つに「情報共有の大切さ」を掲げています。協働によるまちづくりを進めていくためには、まずは「知る」ことが大切です。そのため、これまで以上に行政情報を分かりやすく市民や市外の方にも提供・共有する必要があります。

また、市民発信の情報提供や市民同士の情報共有も大切な視点となります。さらに、シティプロモーション<sup>※</sup>の根幹をなす「まちの魅力発信」についても、行政主導だけではなく市民も自ら発信できる仕組みが重要となります。





## 取組の方針

### (1) 地域情報化の推進 総合戦略

- デジタル市役所（行政のデジタル化）を目指し、デジタル化の基本原則である（1）デジタルファースト（個々の手続きが一貫してデジタルで完結）、（2）ワンスオンリー（一度提出した情報は再提出不要）、（3）コネクテッド・ワンストップ（複数の手続きをワンストップで実現）に従い、デジタル化を推進します。
- シビックテック（市民や団体がテクノロジーを活用して地域課題解決を目指す活動）を推進するとともに、市民ニーズを捉え柔軟に地域課題の解決を目指します。
- 市民の利便性向上、行政運営の効率化を目指し、機能要件やデータ要件、連携要件に関する標準化を推進します。
- 誰一人取り残さない、人にやさしいデジタル化を目指し、デジタルデバイド\*対策を併せて推進します。

### (2) 広報活動・シティプロモーションの充実 総合戦略

- 市民ニーズや社会情勢の変化を踏まえ、広報紙や市ホームページの充実を図るとともに、必要な人に必要な情報が届くよう、SNS\*や商業施設のデジタルサイネージ\*など、様々な媒体の特性を理解した上で、効果的に発信していきます。
- 戸田市の認知度を高め、更には市民の誇りや愛着心の醸成を図るために、SNSやホームページなどを通じて、戸田市の「まちの魅力」を市内外に発信するなど、シティプロモーションを積極的に推進します。
- 市民が情報発信に利用しているSNSを有効活用します。

質の高い行財政運営を進めるための資源（ヒト・モノ・カネ）には限りがあり、特に資源（モノ・カネ）を扱う職員の質の向上は重要であるため、中長期的な視点に立った先行投資も含め、その資源の適切な確保や配分、有効活用は不可欠です。そのため、職員の育成、組織の活性化や行政事務のDX<sup>\*</sup>による「効率的な行政運営」と、安定した財源確保、計画的な公共施設マネジメントの推進などを通じた「健全な財政運営」とともに、EBPM<sup>\*</sup>の推進やPDCAサイクル<sup>\*</sup>による施策や事業の改善などがこれまで以上に求められます。

また、質の高い行政サービスに必要な基盤整備として、様々な行政サービスにつながる住民基礎情報の適正な管理及び迅速な処理体制の整備、条例等の整備、文書管理を適切に行う必要があります。

## ■ 取組の方針

### （1）客観的データに基づく政策立案の推進

- 広く市民の意見を聴くことができるよう「市長への提言」をはじめ、市ホームページやSNS<sup>\*</sup>などを活用した広聴活動を継続しつつ、適切に反映しながら、施策や事業を展開することで、地域課題の解決につなげていきます。
- 市政課題の解決に向けてデータを分析することで市民ニーズをより深く理解し、そのニーズに合った政策を立案できるよう、データ分析に基づく政策立案（EBPM）を推進します。

### （2）行政評価<sup>\*</sup>の推進

- PDCAサイクルにおける自己評価を行い、行政活動の成果の検証や事業の改善に取り組みます。加えて、市民や有識者などの外部視点による再評価（外部評価）を実施することで、評価視点の多角化を図り、職員の施策立案能力の向上、施策の推進等につなげます。

### （3）健全な財政運営

- 財源確保を図るため、新たな財源の創出とともに、市民利益の向上に真に必要な事業選択を行い、効果的かつ効率的な予算編成に取り組み、財政規律を維持します。
- 健全な財政運営を実現するため、事業目的や必要性を見極めつつ、補助金や既存事業の見直しを行います。
- 公共調達においては、適正な執行及び公正な競争により、効果的な調達を実施するとともに、入札制度の見直しや入札関連事務の電子化により、効率的で透明性の高い公共調達を一層推進します。
- 適正かつ公平な課税を行うため、課税客体の的確な把握に努めるとともに、電子申告やマイナンバー制度の適正な運用、標準準拠システム<sup>\*</sup>の安定稼働により、業務の効率化を図ります。
- 口座振替納付やコンビニ納付、クレジットカード納付、スマートフォン決済による納付のほか、地方税共通納税システム<sup>\*</sup>の利用に係る整備などを進め、多様な納付手段の充実を図ることで、納期内納付を促進します。



- 滞納者に対しては、催告文書の送付や納税コールセンターから早期納付を呼びかけるとともに、適正な財産調査に基づく滞納処分を実施し、滞納の早期解消を促進します。
- 公共施設の現状と課題、社会的状況や市民ニーズの変化などを適切に把握した上で、公共施設等の更新や複合化、長寿命化など、将来を見据えた計画的な公共施設マネジメントを実践することにより、財政負担の軽減や平準化、公共施設等の最適な配置の実現を目指します。

#### (4) 効率的な行政運営 総合戦略

- 公文書の電子保存や情報の一元的な管理、例規改正事務のデジタル化を進めるほか、行政事務のBPR<sup>\*</sup>（業務改革）による業務の効率化とともに、デジタル化による利便性の高い市民サービスの実現を目指して取り組みます。
- 行政DXを推進するため、職員に対するDX研修の実施など、情報化に対応した人材の育成を図るとともに、国の支援制度等による外部人材を有効活用します。
- 戸田市人材育成基本方針に基づき、職員の育成や人事評価制度の進展を図り、職員の能力開発及び一人ひとりの能力や特性を最大限に生かした人材の配置に努めます。さらに、適正に報われる人事評価制度や実績管理を実施し、職員のモチベーションや満足度が向上する仕組みづくりを推進します。
- 市民との協働や様々な研修などを通じて多様な人と一緒に働く中で相互理解を促進し、誰もが働きやすく能力を発揮できる環境整備を進めます。さらに、育児休暇や介護休暇制度、多様な働き方が選択できる職場環境の整備や拡充に伴う支援体制の充実により、職員一人ひとりの状況に応じた働きやすい組織体制を整備します。
- 公民連携提案窓口「とだらボ」を通じて、多様な分野において民間と行政がそれぞれの持つ資源や特色、ノウハウを生かした提案を募集し、複雑化する行政課題や地域問題等に迅速かつ柔軟に取り組むことで、より効率的かつ効果的な市民サービスの実現を図ります。

#### (5) 行政サービスの根幹となる基盤の整備

- 住民情報の適正な取扱いや手続の迅速化を実現するため、民間活用による弾力的な窓口体制の再整備を進め、美笹支所や戸田公園駅前出張所などの地域の窓口を充実します。また、住民基本台帳に関する手続における市民の利便性向上ため、オンライン申請等の拡充を図ります。
- 施策等の根拠となる条例等を適切に整備するため、職員の法制執務能力の向上に努めるとともに、市民共有の知的資源である公文書を適正に管理します。
- 安心安全な執務環境と来庁者の利便性の確保に努め、市民に親しまれる庁舎を目指します。



## 考え方 4

# 信頼される行政の実現

行政事務が適正に執行されなければ、市民から行政に対する信頼を得ることができません。質の高い行財政運営を維持するためには、市から独立した委員会等による、選挙の執行や監査のほか、会計事務の執行、行政処分等に対する不服申し立て制度の運用などを公正かつ適正に行うことが求められます。

また、行政と共に市政の発展に取り組む議会は、二元代表制のもと行政を監視するとともに、適正かつ効率的に意思決定や政策提言を行うことが求められます。





## ■ 取組の方針

### (1) 公正で民主的な市政の推進

- 議会では、市民の多様な意見を踏まえ積極的に政策提言するとともに、議案審議等を通じて議会の権能の一つである監視機能を発揮します。さらに、市民の代表から構成される市の団体意思の決定機関として、議会に関する情報を積極的に公開するとともに、市民にとって分かりやすく、市民の意見が意思決定に反映された、開かれた議会運営を目指し、議会だよりをはじめ、議会 HP での議会の映像配信や会議録などによる迅速な議会情報の発信に努めます。
- 議会活動の高度化と効率化のための環境整備としてデジタル化を推進するとともに、外部有識者の専門的知見や議会モニターなどの市民視点を取り入れながら、議会運営の質向上を目指します。
- 期日前投票も含めた投票環境の整備や、若年層に対する選挙の啓発活動を推進することで、市民の市政に対する関心の向上を図るとともに、選挙事務を公平かつ公正に遂行します。
- 市民の知る権利に資する有用な情報の発信と提供を図るとともに、広聴機能の充実やパブリック・コメント<sup>\*</sup>制度の周知により、多くの市民がまちへの関心を高め、意見が述べやすい環境の整備を推進します。

### (2) 適正な事務の執行

- 正確な例規整備により公正な行政処分等を執行し、不服申立制度により市民の権利利益の救済も図るなど、行政の適正な運営を確保します。
- 個人情報の保護に関する法律に基づき、個人情報保護制度を適正に運用し、市が保有する情報資産の管理徹底を図ります。さらに、紙文書と電子文書の適正な保存、管理とともに、公文書のあり方を踏まえた行政文書から歴史公文書までの一元管理を行うことができるよう専門的知識を持つ職員の育成に努めます。また、これらの状況を踏まえた総合文書管理システムの更新、運用を図ります。
- 戸田市資金管理及び運用に関する方針に基づき、金融情勢を捉えながら、定期性預金や債券等により、安全で確実な資金の運用と管理を行います。
- 会計実務研修を実施し、職員の会計事務の適正執行に対する意識や実務の向上を図ります。さらに、会計事務の効率化に関する研究や改善策の提示とともに、国の動向を踏まえ eLTAX<sup>\*</sup>を活用した公金収納のデジタル化を推進します。
- 戸田市の財務に関する事務の執行や市の経営に係る事業の管理、事務の執行が法令に基づいて適法かつ適正に行われているかを検査し、市民や議会等にその情報を提供する監査委員の機能が適切に発揮されるよう補助を行います。